

平成27年度 大阪府立生野高等学校 第1回学校協議会 記録

- 7月3日(金) 15:00~16:30
- 同窓会館(時習館) 多目的ホール
- 記録 首席

・出席者 (協議会委員) PTA 会長 松原市立松原中学校長
同窓会長 元保護者 有識者(大阪教育大学教授)
<欠席>松原市町会連合会会長
(学校・事務局側) 校長 教頭<事務局長> 事務長 首席二名
総務部長 務主任 進路指導主事
保健主事 自治会部長 図書部長

0 協議会開催前に、フレーザーコーストアングリカンカレッジ(以下FCAC)の生徒たちが受ける書道・音楽の授業を委員と学校側で見学。また、1年生の英語集中講座も見学。

1 開会宣言

2 校長挨拶

今週オーストラリアからFCACの生徒20名教員4名が来校中。また一年生は英語集中講座を実施している。

今日は彼らと本校生との交流を中心に、本校生の実際の様子を見ていただき、ご審議いただきたい。

3 協議会委員・事務局自己紹介(順次)と事務局長による資料確認

4 会長選出 → 恒例により、PTA 会長を協議会会長に選出

5 協議 ← これより、会長が議長に

(1) 本協議会の実施要項と本年度運営計画について

「大阪府立生野高等学校学校協議会実施要項【資料1】」の第2条に基づき、年3回この協議会を開催し、委員の皆様にご協議いただきたい。

(2) 平成26年度学校評価報告書について【資料3】

生徒達の授業の受け方がどうも受け身かなと感じる。また、自学自習力の育成が肝心。

(3) GLHSの平成26年度評価シートについて【資料5】

全体として「AA」の評価をいただいている。「AA」は5段階の上から二つ目の評価。細かく見ていくと、「教員の指導力の向上」はB。色々な取り組みはしているのだが、この辺りが今年重点項目かと思う。

(4) 平成27年度学校経営計画について【資料4】

下線部を施した箇所が新しい部分やH26からの変更部分。

SSHの2期目の指定を受けることができた。その概要は別紙資料【研究開発プログラムの概要】に。グローバルリーダーとしての素養をSSHの2期目でも育てていく。また評価方法を今年は確立したい。

(6) 「使用教科書選定」について

選定した教科書と理由一覧は2回目の協議会に提出。

(7) 「学校協議会への保護者からの提言」について

昨年度はなかった。一昨年度は「部活動の拘束時間が長い」という提言をいただき、当協議会の審議を経て改善した。

*質疑応答(以下役職名省略)

○「目指す学校像」は「目指す生徒像」であって、学校としてどういうところを目指すかが見えてこない。その辺も入れてはどうか?教職員としてどのような学校のあり方をめざすかなども入っていればよいと思うが。

◆目指す学校像・目指す生徒像に基づいて「アドミッションポリシー」も提出した。この辺り中学校ではどう捉えておられるか。

- OPTA会長の言われるのもごもっとも。地域や保護者とどう歩むか、教員と生徒がどうリンクするかも検討いただきたい。
- 「アドミッションポリシー」や調査書の所見に基づく入試判定には中学校側も非常に興味を持って見ている。中学校の経営計画にも「目指す学校像」は入れるべきかなと思う。
 - 生野高校と言えば「文武両道」。それに見合う設備や教員という部分を、外部発信の意味も込めて経営計画に入れてほしい。進路実績を詳しく教えてほしい。
 - ◆センター5科目受験が66期に比べて3.4%増えた。国公立志望が増えたことを意味する。詳細については【資料5。GLHSの平成26年度評価シート】参照。
 - 「平成27年度経営計画」の中期目標の中に「主体的・協働的に学ぶ姿勢を育成するための学習方法・指導方法等を充実させる」と入れておられるが、これを入れられた理由は。
 - ◆その部分を入れたのは、グローバル化やSSHの取り組み、FCACとの交流等の特別な機会だけではなく、普段の授業や様々な活動でもその方向でやっていきたいと考えたからである。
 - 3年間保護者として授業参観されてのご感想を。授業力という観点で。授業の活気の有無は教員の良し悪しによるのでは？PTAでもよく話題に出るのだが、「あの先生ダメ」と言われる先生の底上げをお願いしたい。
 - 色々な数字に食い違いがあるのだが → 校長・進路指導主事より説明し、了承。
 - ◆現役にこだわらず、行きたい大学へと考えている。GLHSのシートでは府教委が現役での進学にこだわりがあるようで、それを指標として求められている。
 - 進学面で数値目標はあるのだが、部活動面で数値目標がないのはどうなのか。
 - ◆個々の部では高い目標をそれぞれ掲げて活動しているが、それを全体的にここに掲載するのはどうであろうか。
 - その辺り、OBとしてはいかがですか。
 - 実績が上がっていて、本当に喜んでいる。
 - 同様に、中学校としてはいかがですか。
 - 意識を高く持って、生野でこの部活に入って頑張ろうという子ももちろんいる。
 - 生野は本当に学校の魅力作りに励んでこられた。ただ、昨今は単純に教員が頑張れば生徒が伸びるというものではない。そのあたりが難しいところだし、研究しなければならないところかも。
 - ◆周囲からの要求はこれでもか、これでもかと来る。養殖は作りたくない。天然の力強さを持たせたい。周囲からの要求されるものを、今後は生徒への出し方や精選を考えたい。すごくたくさん要求している割には生徒はよくくらいついて来てくれている。
 - ◆生徒へのメニューがあまりにも多い。洪水のように訪れてくる。こちらがそのあたりの調整をうまくやればもっと生徒は伸びると考える。
 - ◆通学路のトラブルをご相談したい。
 - ◆一昨日の朝と夕方に2件、通学時のトラブルの通報があった。夕方の件については、あの狭い通学路に6時半の下校時刻に一齐に集中することでなかなか解決が難しい話であるが、生徒へのマナー向上を訴え続けたい。ほぼ同じ状況にある松原中学での取り組みを教えていただきたい。
 - 松原市へ要求し学校のすぐ前の歩道を広げてもらった。ただ、生野高校へのあの道は、両側の家々を削りでもしないかぎり何ともできない。
 - 地域の町会と話し合いを持たれたか。まだなら是非持ってほしい。
 - 「70%が勉強と部活を両立している」とあるが、この数字はどこからか。
 - ◆「学校教育自己診断」というアンケートを毎年実施しているが、それでの生徒達の「両立できている」と答えた数字。

6 閉会宣言

7 事務連絡

当協議会の第2回は10～11月を予定。第2回はH27の進捗状況をご報告し討議いただきます。委員の皆様には事前に連絡し、日程調整させていただきます。この後、お時間ある方はFCACとのフェアウェルパーティをご見学下さい。本日はありがとうございました。